

PDCA サイクルの構築に向けて

目的

北九州市基本構想・基本計画「元気発進！北九州」プランの推進

しかし…

課題

予算の量的増額は困難

（現下の財政状況から判断すると、厳しい財政制約の中で推進しなければならない。）

そこで…

行政の指針

次のことの達成が必要

事業内容の効率化

事業の選択と集中
(スクラップ&ビルド)

事業の「質」の向上

そのためには…

解決方法

次のことを行わなければならない。

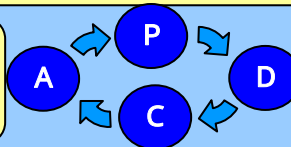
「プラン推進の観点から、事業が期待どおりの成果をあげているか」の検証
成果を挙げていない場合は、事業内容を見直すか、廃止して別の有効な事業に予算を集中させること

その具体策が「行政評価システム」の導入

「行政評価システム」により、「PDCA サイクル」を実現

事業ごとに目標を設定

事業の見直し
予算への反映



事業の実施

成果の検証
有効性や効率性等のチェック

効果

「PDCA サイクル」を実現することにより、プランの達成のみならず、市役所の仕事の“計画”と“結果”の「見える化」が図られ、

市民への説明責任

を果たすことにもつながる。あわせて

職員の意識改革(成果重視の仕事のやり方への転換)

にも資する。